広報こすど
発行所 小須戸町公民館
新潟県中蒲原郡小須戸町
印刷発行 編集人 矢部藤三郎

中学校々舎増築 入札等

六月町会終る

本年、第二回定例議会は七月三日召集され提出議案十四件、報告事項一件専決処分二件が上提され慎重審議が行われた。その概要を記し参考に供したい。

一、小須戸町議会議員等給与条例の一部を改正する条例

小須戸町議会議員等給与条例第九条により本会議及常任委員会等に出席しても費用弁償を支給しないものであったが、地方自治法第二〇三条第三項の規程により費用弁償の支給を与えることが出来るので今回の一部改正により一人月額一、〇〇〇円を支給することが出来るように改めたものであり、また特別委員については日額三〇〇円を支給するものとする。

二、小須戸町税条例の一部を改正する条例

改正の主要点を記すと次のような点であります。

①地方税法第十五条の三の規程により老年者控除（六十五才以上の者）を十三万円を十五万円の控除に改めたものである。

②本町に住所を有する者で均等割の納税義務を負う夫と生計を一にする妻で、本町に住所を有する者には均等割を課さないものとする。

③町長は町民税の賦課徴収にあたって必要があると認めた場合においては町民税の納税義務者等（㈠町内に住所を有する個人㈡町内に事務所、事業所または家屋敷を有する個人で、町内に住所を有する者㈢町内に事務所または事業所を有する法人㈣町内に寮、宿泊所、クラブその他これに類する施設を有する法人で、町内に事務所、事業所を有しないもの及びそれら法人でない社団または財団で、代表者又は管理者の定めのあるもの㈤法人でない財団または、財団で代表者等の定がある公もの等）になった日から人でない社団または、財団で代表者等の定がある公もの等）になった日から一ヶ月以内に規則の様式により町長は町民税の申告書を提出させることができるようになった。

④軽自動車、原動機付自転車については次の通り

㈠五〇CCC年額五〇〇円
㈡九〇CCC年額八〇〇円
㈢一二五CCC　年額一、〇〇〇円
㈣二輪車　年額一、五〇〇円
㈤三輪車　年額二、〇〇〇円
㈥四輪以上で
乗用車　年額三、〇〇〇円
貨物用年額　二、五〇〇円

その他税条例については改正されておりますので必要の際は係員の方にたずねて下さい。

三、小須戸町国民健康保険条例の一部を改正する条例

この条例中第五条の「貧困のため地方税を免除され世帯に属する者」を削除したものである。

四、小須戸町町営住宅管理条例

今回のこの条例は全面的な改正であって、その主な点を記すと次のようなものである。

公募の方法

町長は入居者を公募するにあたって公報、回覧及び掲示等によって、町民に周知し入居者の公募をしなければならない。

入居資格

㈠町内に住所又は勤務場所を有し、公租公課を滞納していないもの

㈡現に住宅に困窮していることが明らかなもの

㈢現に同居しまたは同居しようとする（婚姻等により）親族があること★

と

入居許可

入居資格を有するものは町長に入居申込書を提出し許可を受けなければならないものとする。

入居の選考

町長は入居の申込多数の場合には次のような条件により選考する。

㈠住宅以外の建物に居住していて保安上危険または衛生上有害な状態にあるもの

㈡他の世帯と同居していて生活上不便を受け、親族と同居することの出来ない者

その他二件程度の条件により町長は選考する

使用料の納付

家賃は毎月二十八日までにその月分を納入すること。家賃を滞納したものについては滞納処分をすることが出来る。

㈢現に同居しまたは同居敷金

町長は入居者から使用料の三ヶ月分に相当する額を敷金として徴収することが出来る。

この外修繕費用の負担、入居者の保管の義務、禁止事項、収入に関する決定、明渡努力義務、割増使用料、収入状況の報告の請求等、住宅の使用期間、住宅の返還、住宅の明渡請求、その他色々の条件を決定しておりますので明細については係員の方におたずね下さい。

五、小須戸町手数料条例の一部を改正する条例

この条例中に次の二項を加える

㈠急性灰白髄炎予防接種手数料住民税対象一人一回住民税均等割額対象一人一回　無料

住民税均等割額対象一人一回　六八円

住民税均等割以上対象一人一回　二七一円

㈡露店市場出店許可手数料一件につき　五〇円

六、伝染病患者の医療に関する事務の委託について

伝染病院の事務について小須戸町と県立小須戸病院と規約書をかわして事務等について県立小須戸病院に委託するものである。

七、都市計画法適用指定申請について

本町においても都市計画の適用を受け都市計画の区域内に指定してもらうように建設大臣に申請することを議決し近いうちにおいて都市計画を実施しようとするものである。

八、新潟県地方産業育成資金借入について

今回四〇万を県から借入て金融機関に預託して先回の八〇万を合せて一二〇万を預託し本町もこれと同額を預託して小須戸町の商工業者の皆様の資金にあててもらいたいと思います。

九、小須戸中学校々舎増築工事入札の方法について

本年度に入り中学校々舎の不足をきたしているので早急に校舎の増築をはかろうと延一二六坪（附属教室を含め四教室）と渡廊下七・五坪を指名競争入札により工事の入札を行うことに議決したものである。

十、寄附採納に関する件

小須戸町立第一保育園に使用願いたいと本町出身の東京都品川区の佐藤製作所社長佐藤勇氏よりシャープ電気洗濯器の御寄附がありましたので、ありがたく受け保育園に充分活用させていただく事としました。

十一、小須戸町選挙管理委員及補充員の選挙の件

左の通り委員四名補充員三名決定した

委員　五十嵐若吉　土田古洞　井上考次郎　高山留一

補充員　佐藤正雄　大関勝治　土田照山

十二、予算繰越計算書の報告の件について

伝染病舎の建築にあたって三十五年度において工事が完了しなかったので予算を三十六年度に繰越して使用するものであって本年において三四五万円を予算繰越を行ったその財源内訳を議会に報告を行ったものでありその内訳は国庫支出金八一八千円と町債一五〇〇千円で残金の三一八千は一般会計より繰出を行ったものである。

十三、専決処分の承認を求める件について

伝染病舎建築にあたって工事を行ったので三十六年度において予算がなかったため繰上充用により工事を進めたものであってその金額は一、二〇五千の専決処分を行ったのでその承認を議会に求めたものである。

十四、昭和三十六年度一般会計追加更正予算

昭和三十六年度一般会計四、五四一、三〇二円を追加して総予算額六六、三三九、二三五円となったものである。

毎月二十日は商店街の休業日

買物は前日に

小須戸町商工会

この条例中第五条の「貧困のため地方税を免除され世帯に属する者」を削除したものである。

四、小須戸町町営住宅管理条例

今回のこの条例は全面的な改正であって、その主な点を記すと次のようなものである。

公募の方法

町長は入居者を公募するにあたって公報、回覧及び掲示等によって、町民に周知し入居者の公募をしなければならない。

入居資格

㈠町内に住所又は勤務場所を有し、公租公課を滞納していないもの

㈡現に住宅に困窮していることが明らかなもの

㈢現に同居しまたは同居しようとする（婚姻等により）親族があること★

★㈣次に掲げる収入がありまた独立の生計を営む者。ただし災害により住宅を失った者についてはこのかぎりではない。

㈠第一種町営住宅入居者については一万六千円を超え三万二千円以下であること

㈡第二種町営住宅については一万六千円以下であること

㈢第三種町営住宅については一万六千円であること

暑さもどこへやら……"民謡流し"

心配ごと相談所開設に寄せて

壺屋徳一

心配ごとの相談の内容と言えば生活、経済、婚姻、離婚、それに親子相続といった普通一般考えられるものが多いと思もわれるが、

しかしよく考えてみるにこれでは正直のところ心配ごとが発生してから解決するようでは後手でなかろうかと思う。もっと早く心配ごとが発生しない以前において解決し得るように各人が努力し施設も又そのような形にならねばならないと思うものである。

本当に明るい町民生活を期待するならば心配ごとの事前の策を町民一人一人が又当局が真剣に施さなければならないのでなかろうか。

困りごとの内容は数多いが、やはりその根本は経済問題が一番多いものと思われる。みんなが何なりとも生活できるならば文句や不平や、心配ごとの起る率は少ないことであろう。住民のひとりひとりの生活がうまく維持されているかどうか、出来ないとしたらその理由は何処にあるのか、またその障害となるものは何か、どうすればその隘路は打開出来るか、そうした詳細な調べを行い心配ごとが起る前に、いわば万難を排して実行にとりかからねばならない。これは口でいうほど決して簡単なことではない。しかしそれが最も大切なことでなかろうか。しかし心配ごとができて一人悩んでいるわけにいかないから先週開設された「心配ごと相談所」を活用し悩みや苦しみの解消に努め、その中からでも事前の策が生まれてくれれば幸いというものである。

何も困りごとが多いことは自慢にならない。すべて物事は終りより始めが大切である。係員も又町民の現在起っている様々の問題や苦しみなどについては他人ごとではないだけに周知し入居者の公募をしなければならない。

入居資格

㈠町内に住所又は勤務場所を有し、公租公課を滞納していないもの

㈡現に住宅に困窮していることが明らかなもの

㈢現に同居しまたは同居しようとする（婚姻等により）親族があること★

と

入居許可

入居資格を有するものは町長に入居申込書を提出し許可を受けなければならないものとする。

入居の選考

町長は入居の申込多数の場合には次のような条件により選考する。

㈠住宅以外の建物に居住していて保安上危険または衛生上有害な状態にあるもの

㈡他の世帯と同居していて生活上不便を受け、親族と同居することの出来ない者

その他二件程度の条件により町長は選考する

使用料の納付

家賃は毎月二十八日までにその月分を納入すること。家賃を滞納したものについては滞納処分をすることが出来る。

㈢現に同居しまたは同居敷金

町長は入居者から使用料の三ヶ月分に相当する額を敷金として徴収することが出来る。

この外修繕費用の負担、入居者の保管の義務、禁止事項、収入に関する決定、明渡努力義務、割増使用料、収入状況の報告の請求等、住宅の使用期間、住宅の返還、住宅の明渡請求、その他色々の条件を決定しておりますので明細については係員の方におたずね下さい。

五、小須戸町手数料条例の一部を改正する条例

この条例中に次の二項を加える

㈠急性灰白髄炎予防接種手数料住民税対象一人一回住民税均等割額対象一人一回　無料

住民税均等割額対象一人一回　六八円

住民税均等割以上対象一人一回　二七一円

㈡露店市場出店許可手数料一件につき　五〇円

六、伝染病患者の医療に関する事務の委託について

伝染病院の事務について小須戸町と県立小須戸病院と規約書をかわして事務等について県立小須戸病院に委託するものである。

七、都市計画法適用指定申請について

本町においても都市計画の適用を受け都市計画の区域内に指定してもらうように建設大臣に申請することを議決し近いうちにおいて都市計画を実施しようとするものである。

八、新潟県地方産業育成資金借入について

今回四〇万を県から借入て金融機関に預託して先回の八〇万を合せて一二〇万を預託し本町もこれと同額を預託して小須戸町の商工業者の皆様の資金にあててもらいたいと思います。

九、小須戸中学校々舎増築工事入札の方法について

本年度に入り中学校々舎の不足をきたしているので早急に校舎の増築をはかろうと延一二六坪（附属教室を含め四教室）と渡廊下七・五坪を指名競争入札により工事の入札を行うことに議決したものである。

十、寄附採納に関する件

小須戸町立第一保育園に使用願いたいと本町出身の東京都品川区の佐藤製作所社長佐藤勇氏よりシャープ電気洗濯器の御寄附がありましたので、ありがたく受け保育園に充分活用させていただく事としました。

十一、小須戸町選挙管理委員及補充員の選挙の件

左の通り委員四名補充員三名決定した

委員　五十嵐若吉　土田古洞　井上考次郎　高山留一

補充員　佐藤正雄　大関勝治　土田照山

十二、予算繰越計算書の報告の件について

伝染病舎の建築にあたって三十五年度において工事が完了しなかったので予算を三十六年度に繰越して使用するものであって本年において三四五万円を予算繰越を行ったその財源内訳を議会に報告を行ったものでありその内訳は国庫支出金八一八千円と町債一五〇〇千円で残金の三一八千は一般会計より繰出を行ったものである。

十三、専決処分の承認を求める件について

伝染病舎建築にあたって工事を行ったので三十六年度において予算がなかったため繰上充用により工事を進めたものであってその金額は一、二〇五千の専決処分を行ったのでその承認を議会に求めたものである。

十四、昭和三十六年度一般会計追加更正予算

昭和三十六年度一般会計四、五四一、三〇二円を追加して総予算額六六、三三九、二三五円となったものである。

三十六年度新役員決まる

小須戸町商工会

小須戸町商工会ではさる六月十五日了専寺において、三十六年度総会を開き新年度事業及予算を審議決定し、新役員の選出をした。

会長	田中達郎	留
副会長	渡辺平七	留
〃	江川徳夫	新
専務	梅津英五郎	留
理事	徳永丁三	留
常議員	井上寛治	新
監事	山田秋蔵	留

他　十八名　四十四名

又今年度主な事業計画は次の通り

一、金融対策

国民金融公庫資金の積極的融資斡旋並びに普及促進、信用保証協会の円滑なる運営、産業育成資金の斡旋並びに普及の促進。

一、税務対策

青色申告の維持育成と推進の普及指導又簿記講座の開設及び個々指導の開設。

一、商工業振興経営指導の開設

専門講師による商工業振興に関する講演会、講習会等の開催、経営改善普及員による個人巡回指導の実践および町経済圏に関する実態調査。

一、福利厚生事業指導対策

生命、火災、退職金共済制度の普及促進、商工業従業員の慰安会および永年勤続者の表彰、休日余暇の善用行事の実施

防火管理者の届出と消防設備について

消防法が改正されて四月一日から五十人以上の人がいる（収容人員）建物には防火管理者を定めて届出をしなければならないことになりました。

防火管理者として届出された者は県の指定講習を受けて資格が与えられます。第一回の講習会は八月十七日頃から開かれる予定です。まだ届出をしない者は、すぐ選任届出をして下さい。

防火管理者を置かない建物でも学校、保育園、社寺、工場、事業場、旅館、映画館、病院、料理店、飲食店等一定の大きさ以上の建物には、消火器、非常警報設備、避難設備等の消防設備をしなければならないことに義務づけられました。

四月一日前の建物ですぐ改正消防法による消防設備をすることができないものは届出をすれば二年間（昭和三十八年三月三十一日まで）猶予されます。届出をしなければ改正法がすぐ適用されますから注意して下さい。

火災の予防延焼の防止、人命の保護が目的とされた法律の改正ですから基準によって早急に消防設備をお願いします。

くわしいことは役場総務課庶務係に問合せ下さい

学校プール利用三日間

学校プールも夏休みを迎え、連日児童生徒で賑やかです。今年は父兄の皆さんが監視に当っており学校側からも感謝されております。

週二回の清掃（水、土）に加えて、毎回使用毎に消毒液を撒布し、水の浄化に万全を期しています。

一般にはお盆の十四日から十六日までの三日間が予定されておりますから御利用下さい。なお一部の心ない人のため、夜間プールを汚染されることのないよう願います。

家屋調査のお願い

来る八月一日より十日頃まで昨年度末調査の家屋に限り調査のため係員が参上しますからよろしく御願い申上げます。

（総務課）

町民大運動会

日時　8月20日（日）午前9時より
場場　小須戸中グランド

賞品たくさん

多数の参加を乞う

なぎさ

ちりもつもる

「ちりもつもれば山となる」とかいわれますが、長雨のあと、こう照りつけられてみると、ここかしこに小さな存在とはいえ、ゴミ箱にもり上がり、あふれ出ているゴミが目につき、鼻についてきます。

「にくまれっ子世にはばかる」のたぐいで、この小さな山は、いつみてもなくならないように思われます。

「待つ時間は長い」と申しますが、ひるがえって昨年五月の臨時町会で議決をみました塵芥処理所の建設はどうなっているのでしょうか。

公報一〇三号（昨年六月発行）によれば、下興野地内を予定しているようですが、一年有余を経た今日もなお、建設のつち音すら聞けないとは、待つ身はつらいねというところです。

無理が通れば道理がひっこみ、反面、成らぬは人の成さぬなりけりで、この間、当事者の諸氏には種々の問題を抱え、苦労を重ねていることと考えられますが、実現を首を長くして待っている町民多数の期待に一日も早く答えていただきたいものです。

生活の合理化が叫ばれ社会の休みない発展を見聞きしておりますと、また〳〵ほ装道路の両側に並んだゴミ箱を見せつけられますと何かチグハグな感じをまぬかれません。

夏休み中、道路清掃を計画した子供達が日程半ばで座折したのも、この塵芥処理に難点があったとか、こうなると大人たるもの子供にも顔向けできなくなりそうで……。

町当局は無論のこと、町民の協力態勢で一日も早くちりもつもらぬきれいな町を実現させましょう。

今年の水稲作況予想
有史來の大豊作か？

長かつた梅雨も、漸くにして明け、心配された稲熱病も、一段落した感じ。天候の立直りと共に、稲作は日一日と回復に向い、新聞紙上をにぎわしているように、現在の作況予想では、七年連続豊作も夢ではない。

今年の供米予約数量を見ましても、昨年度の実績を八六〇余俵上回る、三九、七一〇俵（七月二十日現在）と、小須戸町有史来の数字に上っております。

年々単位当りの収量が増加の道をたどっているとは言え、今年は気象的に見ましても、恵まれているとは言えなかった。

ではどこにその根拠があり、このような数字が生まれたのだろうか？。その裏には農家各位の熱意がうかがわれる。

それでは、苗代より現在に至る迄について反省して見たい。

今年は例年にない大雪に見舞われ、苗代準備の遅れが心配されたが、春先よりの天候に恵まれ、播種期は平年並。苗代期は日照多く、気温が高かった関係で、軟弱徒長の苗代を可成り見うける。今後の課題として特に、水管理、播種量の反省が必要ではなかろうか、

田植は平年より二、三日早く、五月十六日を皮切りに、二十三、四日田植の最盛期。裏作跡地を一部残し、月末にはほとんど終る。田植後の天候も順調、軟弱徒長、若植の移植と植傷みが今年は特にひどかった。

梅雨入りは例年より若干早く、六月末、七月初旬には梅雨前線の長期停滞により、各地に大水害をもたらす。当小須戸町においては、水田 小向 小須戸の堤外地では三たび冠水に見舞われたが、時期も早かった関係で、被害の予想以上に軽かったことは、不幸中の幸であった。

軟弱徒長苗の移植、乾土効果によるでき過ぎ、梅雨とたび重なった悪条件のもとに、心配された稲熱病も、農家各位の並々ならぬ御努力のかいあって、大した被害もなくく い留め得たことは、貴重なものであった。今後ともこの共同の力を失うことなく、より一層高めていただきたいものであります。

現在の稲作を振り返って見まして、草丈、茎数とも順調な生育、むしろ過繁茂の危険状態の田が、可成り多い。気象も左右したとは言えども、施肥料の再検討を願いたいものである。

年々生産量は増加しておるとはいえ、反面、生産費もそれに平行して多くなっている。それでは何の意味もなさない。今年は特にそれが「まざまざ」と見せつけられた年であったのではなかろうか？。

七年連続豊作とはいえ、まだまだ油断大敵である。豊作も一夜にして夢、と化して了うこともないではない。

今後の後半期の管理が大切である。

穂首イモチ、青虫、ウンカ類、気象災害とまだまだ問題は数多く残されている。特に今年の気象予報では、颱風の当り年と言われており、施肥、水管理、病害虫防除等、尚一層の御努力をお願いしたいものであります。

彰表生先生成田

小須戸町青少年問題協議会では、さる七月九二日の定例会議の席上中学校成田先生を表彰した。

表彰状

成田常信

貴殿は常に青少年の補導に努力して居られたが昭和三十六年三月十三日小須戸町に於て甲中学生四人と乙中学生四人とが互に兇器を持って乱闘に及ばんとした時事前に之を察知して補導しこの事件を未然に防止したことは誠に奇特の行為である依て本会は茲に貴殿の功績を表彰する

昭和三十六年七月十二日

小須戸町青少年問題協議会

会長　岡田六太郎

ごあいさつ

佐藤レッ

私はこの度小須戸婦人会長の重責に就くことになりました。

もとより浅学非才しかも婦人会に対する経験も乏しく、その上血圧が高いので半病人のような有様でどう考えてみても不適任であることを主張しつづけてまいりましたところが名前だけでよいからということで全く理屈では何としても割り切れないままに結局役員のお方達の情にほだされてお引受けした次第でございます。このようなわけでありますから名会長としてしたわれた前会長川村さんの残された立派な御功績を引きついで行けないことはもちろんのことであります。私としてはひたすら役員の方々はもとより会員の皆さんならびに町民の皆様の温い御支援ときびしい御叱正の程をお願い申し上げまして大過なくその職責を全うさせていただきたいものと存じます。

終戦後強くなったものは靴下と女だなどと言われておりますが、私は女の立場としてすなおな気持でこの言葉をうれしいことだと考えています。いつの時代でもほんとうの意味において女は強くならねばならないことは男の方も望むところでございましょう。ただ靴下と女という言いまわしがどことなく気にさわるような点もないではありませんがまあ言葉のせんさくはさておきまして私達はもっともっと勉強してほんとうに強い女となって文字通り日新月歩のこの社会におくれないようにつとめなければならないことだと思います。

この意味から私は全員の皆さんが婦人会という組織を通して積極的に婦人会活動に参加せられ自己の修養に資すると共に婦人会の発展にお尽くし下さるよう心からお願い申し上げまして一言御挨拶といたします。

小須戸町 連合婦人会と町部婦人会の役員きまる

小須戸町連合婦人会と小須戸婦人会の正副会長が決定した。役員は次の通りである。

なお町部婦人会の総会は二十三日午后一時より公民館で、連合婦人会の総会は二十八日午后一時半より小学校にそれぞれ盛大に開催された。

連合婦人会役員

順不同、敬称略

会長　佐藤レッ
副会長　保科光枝
〃　高山マツ
〃　木村ミキ
〃　風間スイ
会長　武藤トシ
〃　奈良沢名栄
郡代議員　佐藤レッ
〃　高山マツ
〃　木村ミキ
〃　保科光枝
〃　風間スイ
郡副会長　佐藤レッ
〃　理事　保科光枝
県代議員　佐藤レッ

小須戸婦人会

順不同敬称略

会長　佐藤レッ
副会長　風間スイ
〃（欠員）
会計　風笠ミセ
〃　梅津ヨシイ
幹事　近藤ミネ
〃　笠原ミセ
〃　武藤トシ
〃　佐藤キイ
〃　中村ヨシイ
〃　田巻タケ
〃　星スイ
〃　阿部ミヨ
〃　加藤ミス
〃　松沢キヨ
〃　佐藤マツイ
〃　佐藤トミ
以上

おめでとう

県展・県下写生席書大会入選者

第十六回県展に当町より出品、入選された方々は次の通り

書の部

奨励賞　佐藤江山
入選　坂井清風

画の部

依嘱出品　小田哲

入選　成田常信

彫刻の部

入選　徳永
又第十二回県下学生席書大会での特選入選者は次の通り

知事賞　加藤ウメ　小六
特選　村山昌子　小二
広川伸一　小二
渋谷美知子　小三
小林正明　小四
砂井久雄　小五
村山英隆　小六
渡辺則男　中一
高野正栄　中二
島倉紀之　中三
佐藤八重子　高三

産業めぐり　その七

小さな電球だが当町では輸出の花形

藤原輸出電球小須戸工場

新潟県内の産業の中で特殊産業として特に注目されて居る小型輸出電球のメーカー！藤原輸出電球株式会を紹介しよう。

本社は白根市西笠巻新田に在り県道添いで新潟大野経由新津行バスの東笠巻停留所が工場の角に建つている。支店の一ッである小須戸工場はウデコキで当町の入り口にありプロパンのボンベが林立して設置されて居るので一目でわかる。本社では各種の小型輸出電球が生産されて居るがこゝ小須戸工場に出来る電球はC－7球と云つて一〇〇ボルト球で一般家庭産の常夜燈に使われて居る二燭よりやゝ小さい。設備は特殊なので名称は電球自動製造機械と云いユニット方式に依る八台組になつて居り、今までこの種類の電球を造るには数年経験を得た熟練工の手先に頼つて造られて居つたものを自動的に生産されるオートメーションに成功したもので新潟県内にはこゝの工場だけ設備されて居る。

燃料は天然ガスはカロリー不足のため専らプロパンガスが使用されて居る本社支店合わせて月産七拾五万個の内小須戸工場では十五万個であるが工場長の山崎清氏以下従業員全員の生産意欲燃ゆる勤務態度を見廻す時工場長の云われる様に日産二十万個生産も近い将来との感を深められた。又従業員の厚生関係も社会保険失業保険並に退職金制度も確立され中小企業の内にも将来の発展の基礎が見られるようだ。又社長は輸出電球界の中央機関である日本輸出電球工業組合の理事であり又本県内同業者に依って構成されて居る新潟県輸出電球協同組合の理事長を勤めて居られ後進の指導育成と業界発展のため努力されて居る。

尚高賃金高能率をモットーとして最近一部請負工賃に切り替えて合理化の促進とペースアップを実行して居り輸出増強の国策と共に今後の躍進が十分に期待されるわけでわが町のためにも大いに喜ばしい事である。

で機械と事仕先手

おくやみ

自　六月二十一日
至　七月二十日

小須戸　川村ハツ
矢代田　五十嵐留作
小須戸　斎藤チセ
矢代田　五十嵐寅吉
横川　長沢キク
小須戸　柏フジエ

小須戸風土記

「北山神社の御神体」

柏大治

昔から鵜出古木と子成場の地名については鵜がウデコキの古木に生息して子を生む時に子成場地内の森に行き生むので両村の地名がつけられたなどの伝説がありますが、両村は切っても切れない歴史的な因縁があるようです。文祥が年間信濃川に流れていた、御神体を鵜出古木、子成場両村が共同で北山神社の御神体として神社を建立したといわれ、宝暦年中の棟札には確かな根拠になる記録が残されていて、共同のお宮であったことが判明しました。最も子成場は明治二十二年信濃川七堰改修工事の際全村現在の処い移住しましたが子成場は隣りで近接していました。それにしても北山神社の御神体は菊理姫とありますが、菊理姫なら白山神社と称するのが正当なのであろうが、北山と云う地名に宮を建てたので御神体に拘わらず、北山神社と称したのでしょう。県下でも北山神社は珍しいもので佐渡に一社あると聞いていましたが、実はお隣りの子成場にも同じ北山神社があります。これについては次のような面白い伝説があります。いつの時代か不明ですが、子成場とウデコキで土地の問題で喧嘩したことがあります。そこで「とうろ」など飾っていた子成場はお祭を別個にするため、新しく宮を建て夜隠に北山神社の御神体を盗み出し、こっそり新規の宮に祭ってなにくわぬ顔をしていました。宮を建てたのは文政年間です。処でお祭をしようとしたウデコキ側は御神体が紛失しているのに騒ぎ調査すると子成場方に盗まれたことを知り訴訟を起しました。なにしろ共同の御神体ですから両者にいろいろ理屈がある訳ですが、訴訟はウデコキの勝となって御神体は無事戻ったといわれていますが、真偽の程は解りません。

明治維新になると排仏毀釈がさけばれ、神社の御神体には神仏混合は禁止の法令がでて加茂の紅屋小池内広が新潟県神社取調官として明治六年から七年と県下各町村の神社を調べもし仏像を御神体としている宮はようしやなく改修を命じて廻りました、小池内広は仏徒には憎まれましたが、神道学者で神事資料など貴重な文献をのこしていますが、信濃川の安進丸の水車に挽まれて死にました。

ので世の中の人達は仏罰があたったと歌まで流行しました。此の小池内広がウデコキの神社を取調に来るというので、ウデコキではあわてて御神体を罔日長吉さん宅に隠し新しく御神体を造ったといわれていますから、おそらく仏像だったと思います。今でも子成場の旧家故石塚秀世氏宅に北山神社の御神体だと称する木像の阿弥陀仏が安置されていますが、子成場の道太郎という仏師がウデコキの御神体を子成場方で盗んだ際に仏像を複製して子成場北山神社に祭ったものだとつたえられています。ウデコキと同じく紅屋を恐れ石塚家へ隠したものと思われます。そうなると鵜出古木北山神社の本当の御神体は阿弥陀仏いとうことになりますが、憶測すれば戻さず本当の御神体が子成場にあるのかどうか、それにしても信心すれば縁結びとお金持になれるという霊験あらたかな明治以前のウデコキ北山神社の御神体はどうなっているのであろう。なんとなく興味が引かれます。

七月 購入図書

◇文句の言いどおし　吉田健一
◇風流夢譚の裁判と国民への訴え　T・フリートマン
◇追跡者　龍口直太郎　訳
◇黒人文学全集第四巻　砂糖きびトウーマー　木島始　訳
◇九官鳥侍　陣出達朗
◇君が行くなら　北町一郎
◇その道は行き止まり　平岩弓枝
◇ぼんくら与力　山手樹一郎
◇僧房夢　今東光
◇花散里　円地文子
◇僻地の旅　宮本常一　編
◇シュヴアイツアー博士とともに　高橋功
◇サザエサン　長谷川町子（第六）

町民囲碁將棋大会

日時　8月26日　午前10時より
会場　小須戸町公民館
会費　50円
入賞　各5位まで
多数の参加を乞う

梅雨明け

小須戸町俳句同好会

梅雨明けの雄花ばかりの南瓜畑　虚
一掴みうちわ出されて句会客　秋
梅雨出水引いて残りし虫柱　桜
初蟬や吾子教室にきゝしとか　越
梅雨炉辺の新聞昏し記事暗し　山
流れ来るビンに石投げ梅雨出水　葵
嫁ぎし娘花菖蒲剪つてすぐ行きぬ　芳人
花永エスカレーター昇るのみ　向日葵
梅雨長し遂にイモチの予防始め　溪
昼夜灯赤く早のポンプ小屋　灯
蹴越し衣縫う人のつゝましく　香水
夏襦袢母の面影人知れず　竜朗
風鈴の音夢にして昼寝かな　一陽
鰻釣る夜店もありて人たかり　流水
真柏や打ち水の光りこぼれつゝ　キク